

第192号 発行日 平成25年1月9日

合格通信

今
月
の
名
言

人間には進歩か退歩かのいずれかがあ
って、その中間はない。
現状維持と思うのは、実は退歩して
いる証拠だ。

— 森 信三 —
(教育家)

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせ
いただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

子どものタイプ別対処法⑨

保護者面談をしているとよく「何でうちの子はやる気を出してくれないのだろう」そう言
ってくる親はとても多いのです。けれども子どもはひとりひとり性格が違いますし、これま
で育ってきた環境も違います。やる気が出せない理由は様々です。なかなか勉強に入ってい
かない子どもたちには、どのような悩みがあり、どんな問題があるのでしょうか。



「わからないから、すぐやめてしまう」・・・忍耐力に欠ける 子どもの接し方

「わからないから・・・やめた」とすぐにあきらめる子は、途中で投げ出すくせがついている
ので、勉強を継続することができません。もともと学習意欲が低いことも考えられますが、「忍
耐力」は、環境も大きく影響してきます。勉強を妨げるもの、ゲームやマンガ、携帯電話、テレ
ビ、パソコンといったものが、近くにあればどうしても手が伸びてしまうでしょう。そして一度
始めてしまえば、寝食を忘れて没頭してしまいます。しかし、これらを全く与えないことが難し
いのも事実です。こうした場合は、子どもと真剣に話し合い「7時から8時までは自分の時間
にして何をやってもいいよ、そのあと8時から～時までは勉強しようね」と時間で区切り、そして
「約束を破ったらゲームや携帯を一定期間取り上げるよ」と条件を付けましょう。

次にお子さんが**集中して勉強できる環境を作ってあげることが大切です**。子ども
が勉強しているときに、家族がテレビを見て大笑いしていたり、談笑していたりでは、やる気が
なくなるのは当然です。お子さんが勉強している時間は、家族も極力静かに過ごし、理想を言え
ばその時間は親も勉強するなり、本を読むなりすれば、親の姿を見るだけで「勉強しなさい」な
どと言わなくても、本人が自ら勉強するようになるでしょう。

またわからない問題にあたったとき、どう解決したらよいかわからない子どもがいるのも事実
です。まず、自分で調べながら学習する際に、参考書の類が無いご家庭がよくあるのです。教科
書だけでは勉強できません。数学なら、参考書でわからない問題の類似問題の解法を読み、自分
の頭で理解する。そして同じタイプの問題を多く解き、解法を体得して行く。そうしたあたりま
えの勉強法がまだわかっていないのです。**分からない問題に直面した時の解決策を教
えてあげる必要があるのです**。

～次回に続く